

事例周知・再発防止〔平成26年度発生事例〕

災害の種類	公衆災害：第三者物損事故	工事区分	道路工事
事故内容	自転車が乗入れブロックの段差で転倒	被災者	性別・年齢 女性 19歳
被災状況	衣服(ズボン)の破れ	被災者	職業 大学生

〔災害の概要〕

□現場の状況：

道路土工掘削作業を行っていた。

□事故の概要：平成（26）年（5）月（14）日（水曜日）

被災者が自転車で走行中、車道から歩道に入る際、一般乗入れブロックの段差(5 cm)にてハンドルをとられ、バランスを崩し転倒した。

□安全対策の有無：交通誘導員を配置し、誘導を行っていた。

〔再発防止策〕

□問題点：①乗入れ平ブロックの段差5センチを擦り付けずに通行させた。
②乗入れブロックの表面が滑りやすかった。

□防止対策：①仮設通路内の段差はゴムマットにより擦り付けを行う。
②仮設通路は、バリケード・標識・赤色灯を設置し、明確にする

〔事故の状況が判る写真又は図面〕



被災者は、車道側より矢印の方向へ斜めに進入した。

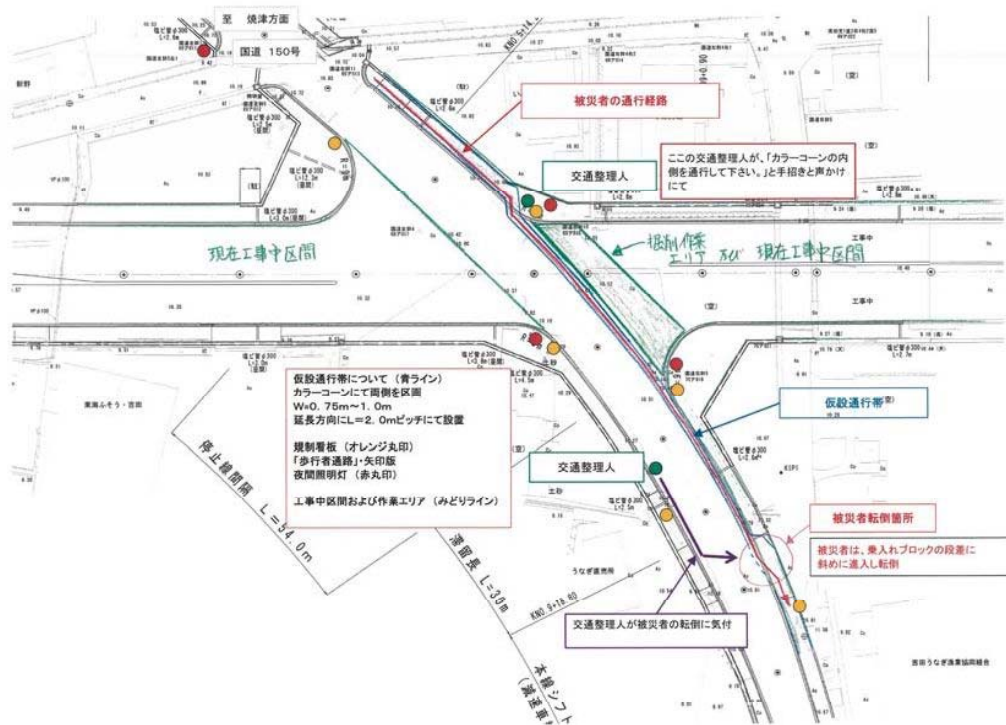
その際、乗入れブロックの段差(5 cm)にてバランスを崩し、ハンドルをとられ転倒した。

事例周知・再発防止〔平成26年度発生事例〕

〔事故の状況が判る写真又は図面〕



被災者本人と被災者が転倒時に履いていたズボン。
左膝部に、直径にして約3cm程度の穴が開いていた。



事故周知・再発防止〔平成26年度発生事例〕

災害の種類	公衆災害：第三者傷害事故	工事区分	舗装工事
事故内容	段差でつまづき転倒	被災者 性別・年齢	男性・76歳
被災状況	両手首内出血	職 業	理髪店 店主

〔災害の概要〕

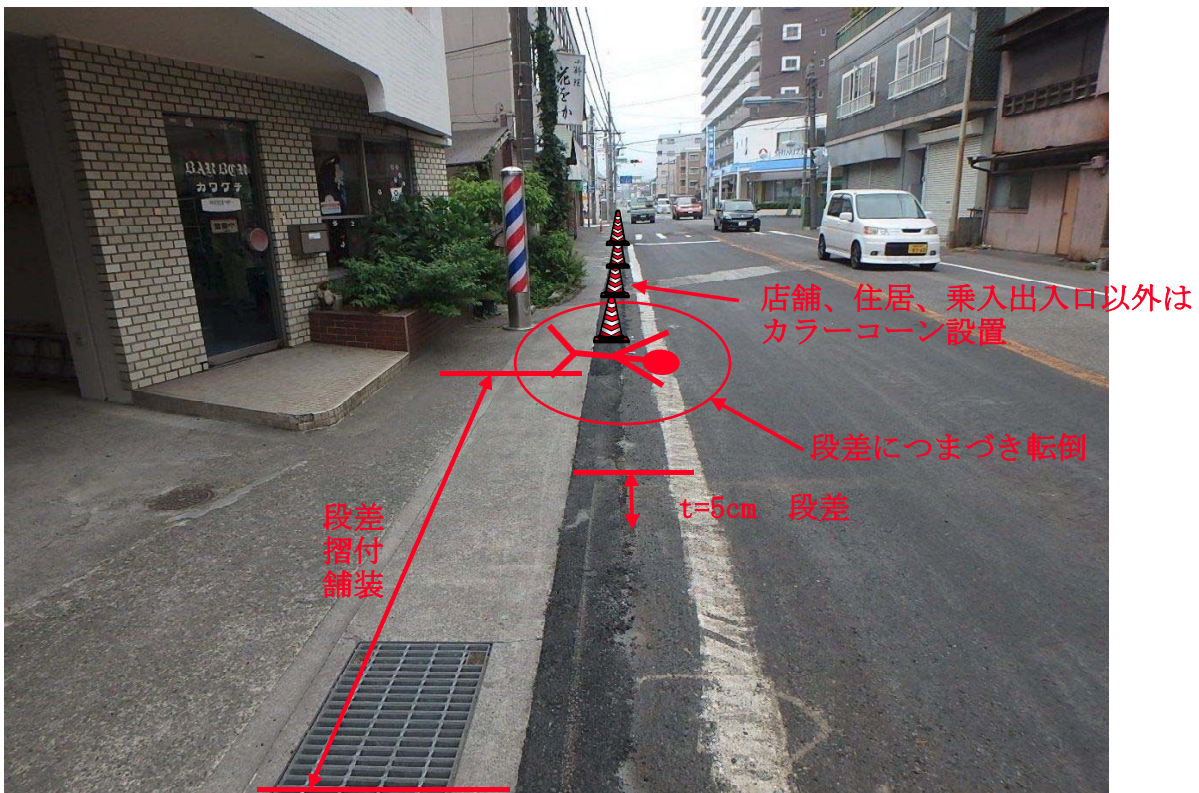
- 現場の状況： 夜間作業で舗装工事を施工しており、昼間は基層面（段差5cm）で交通開放していた。
- 事故の概要： 平成26年6月17日（火曜日） 午後12:00頃
被災者は自分の店舗から道路に出た際につまづき、両手を地面について負傷した。
- 安全対策の有無： 住居、店舗の出入口、乗入部には段差摺付舗装を行った。
出入口ではない箇所には約2m間隔でカラーコーンを設置していた。

〔再発防止策〕

- 問題点： ①店舗、住居の出入口、乗入部しか段差摺付舗装を行っていなかった。
②出入口でない箇所にはカラーコーンを設置していたが、間を通り抜ける状態であった。
③歩行者等に対して「段差あり」の予告が不十分であった。
- 防止対策： ①歩行者通路が狭い箇所は全線段差摺付舗装を行う。
②出入口でない箇所のカラーコーンにはバーを設置して、通り抜けを防止する。
③赤色灯、「段差あり」の表示で歩行者等に注意を促す。

〔事故の状況が分かる写真または図面〕

事故発生状況



事故周知・再発防止〔平成26年度発生事例〕

[事故の状況が分かる写真または図面]

